

福岡市陸上競技協会

【設立年月日】

1946（昭21）年（福岡ACとして設立）
1960（昭35）年（福岡市陸上競技協会へ改称）

【加盟年月日】

1962（昭37）年

【歴代会長】

1963（昭38）年 佐藤 篤二郎
1964（昭39）年 橋岡 八郎
1983（昭58）年 関 克敏
1995（平7）年 古賀 圭二
2003（平15）年4月～現在 南原 茂

【歴代理事長】

1963（昭38）年 西田 広、蓑原義孝
1973（昭48）年 小堀 栄
1975（昭50）年 渡辺 忍
1988（昭63）年 徳丸 広
1999（平11）年 波佐間 宏
2001（平13）年 瀬口 俊光
2011（平23）年4月～小藤 昭



平成14年全国高校駅伝 3回目の優勝筑紫女学園高校

【沿革】

福岡市陸上競技協会は、1946（昭21）年福岡市近郊の愛好者で組織し、（福岡市アスレチッククラブ）福岡ACとして発足しました。1960（昭35）年規約改正など整理して1962（昭37）年福岡市体育協会設立と同時に福岡ACから福岡市陸上競技

協会に改称しています。

組織は会長、顧問をおき理事長以下副理事長、総務部、審判部、競技部、強化部、普及部、記録部の専門部で各競技の統括を図っています。

発足当時の役員は、岡部平太（平和台の命名者）、榎崎正雄の両雄で、1948（昭23）年第3回国民体育大会開催にあたり国体式典委員長として活躍された業績は今でも語り草となっています。

この国体の平和台会場のメインポールには榎崎正雄が当時占領下である中で敢えてGHQと交渉した結果、「君が代の演奏裡に国旗の掲揚差し支えなし」との朗報を得て、戦後日本で初めて日章旗が君が代の演奏裡に掲揚されました。歴史に残る1ページともなっています。

また、聖火台には肥之松を集めて燃やし細々と火が灯った（これも榎崎正雄案）こともエピソードとして残っています。

【1990年代は国際試合で大盛況】

- 1989（平元）年 博多の森陸上競技場が建設
- ① 1990年（平2）年 第45回とびうめ国体
 - ② 1993年（平5）年 TOTOスーパー陸上福岡
 - ③ 1995年（平7）年 ユニバーシアード福岡大会
 - ④ 1997年（平9）年 IAAF世界グランプリ
ファイナル福岡大会
 - ⑤ 1998年（平10）年 アジア選手権

【2000（平成12）年以降の世界選手権大会】

- 2007（平成19）年
第11回世界陸上選手権 大阪大会
- * 前田和浩（九電工）
10000M 第17位 29分48秒17
 - * 吉形政衡（三洋信販）
400MH出場 予選敗退
- 2009（平成21）年
第12回世界選手権 ベルリン大会
- * 前田和浩（九電工）
マラソン39位 2時間19分59秒
 - * 榎見咲智子（九電工）
走幅跳 27位 6M

【平和台陸上競技場が存続の危機】

2002（平14）年、平和台陸上競技場のオールウェザーがボロボロになりました。鴻臚館遺跡問題で改修予算がつかないという情報も流れて市陸協の執行部は困惑をしていました。

この時、古賀圭二市陸協会長（九電工）が福岡市長に直接お会いして請願をしました。更に当時の役員（坂井和義副会長、瀬口俊光理事長）が、平和台を活用している高校の指導者から署名を集めて、陸上の経験があり且つ理解がある南原茂市議（2003年から会長就任）に協力を求めるために議会室を訪問しました。

南原議員の紹介で市民局長を訪問し、グラウンドを持たない周辺の高校が平和台を活用してインターハイ、国体、全国高校駅伝等で優勝していることを伝えて競技場存続を訴えました。その努力が実り改修にこぎつけることができました。あれから約8年後、2010（平成22）年度には博多の森のサブグラウンド改修工事も行われ、同時に平和台も掘側に2コースのサブ練習場（オールウェザー）が新設されました。

【経済不況で伝統の大会が消えていく】

この10年バブルの崩壊やリーマンショックで日本の経済も大不況に見舞われました。大会にスポンサーがつかなくなってきたために、福岡市陸協が主管、協力していた下記大会を最後に消えていきました。

<下記が最後の大会となる>

- 第5回ユニバーシアード記念大会（博多の森）
2004（平16）年6月6日
- 第36回博多の森（平和台）クロスカントリー大会
2005（平17）年3月13日（朝日新聞社）
「廃止理由に国際クロカンの開催も影響する」
- 第21回レディースロード大会（西日本新聞社）
2006（平18）年2月18日平和台スタート
- 第28回日刊大濠マラソン（朝日新聞社主催）
2008（平20）年11月9日
- 第62回朝日駅伝大会（朝日新聞社主催）
2011（平23）年1月10日 福岡～小倉

【現在の活動（市体協主催大会・教室）】

2011（平23）年度

- ①主催 第42回福岡市民陸上兼第25回福岡市民総合陸上競技大会「6月11、12日博多の森」
- ②主管 第16回福岡市障害者スポーツ大会
「10月2日博多の森」
- ③協力 第25回市民総合スポーツ大会開会式
「平和台10月10日」
- ④主催 第10回博多の森カーニバル
「10月22、23日博多の森」
- ⑤主管 第22回シティマラソン福岡2011
「11月13日ヤフードーム」
- ⑥主催 第13回福岡市陸上教室
「12月18日博多の森」
- ⑦主管 第25回海の中道市民クロスカントリー
「H24年2月25日海の中道」
- ⑧主催 平和台ジュニアクラブ陸上指導
「毎月1回 第3土曜日平和台」会員300人

【議員有志の会と市民ランナーとの意見交換会】

2010（平22）年8月4日（水）19時～20時30分
場所：議会棟7階応接室で議員有志の会6名、市民ランナー等11名 市陸協から理事長（瀬口）と副理事長（大神）が出席しました。
議題：市民フルマラソン開催検討について



平成23年別府大分毎日マラソン 前田和弘選手（九電工）